



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2024年10月31日

## フードドライブ・エコキャップ運動がスタート

### SDGsを積極的に推進

組合ではSDGs推進事業の一環として、「貧困問題」と「食品ロス」を解決する施策の一つとして注目されるフードドライブ事業を新たにスタートさせた。

当事業は、組合員企業や従業員の家庭で使い切れない未使用食品等を持ち寄り、青森県社会福祉協議会を通して子育て中の貧困家庭や子ども食堂等に贈る。

組合では今後2回のペースでフードドライブを実施する予定で、今回は年明けの

2月に食品の寄付を募る。また9月から「ペットボトルキャップを集めて世界の子どもにワクチンを」運動（エコキャップ運動）に取り組みている。当運動は、組合の空き缶等リサイクル共同回収のうち、ペットボトルキャップ回収分の収益金を「世界の子どもにワクチンを」日本委員会（寄付し、ワクチン（ポリオ等）接種費用として役立つ）に寄付する。



とんやまちフードドライブ寄贈式



組合員専用キャップ回収ボックス 組合員から寄せられた未使用食品等

イルのうち、「すべての人に健康と福祉を」や「つくる責任つかう責任」など、多くのゴールに関わっている。組合では希望する組合員に専用の回収ボックスを無料配布するほか、問屋町会館にも回収ボックスを設置し、ペットボトルキャップの回収促進を図る。

## 問屋町サッカー教室を初開催

9月29日（日）に小学生を対象とした問屋町サッカー教室を青森県新総合運動公園球技場で開催した。同教室は、昨年度も企画されたが雨天中止となり、今回が初開催となった。

問屋町にクラブオフィスを構えるプロサッカーチームのラインメール青森FCの協力のもと開催された同教室には、小学生8名が参加した。当日は天候に恵まれ晴天の中、参加者はラインメール青森の選手やコーチの丁寧な指導のもと、手足を使ったボール遊びや試合形式のミニゲームなどを通してサッカーの楽しさを学んだ。



ラインメールの選手達と一緒にゲーム

## SDGs標語コンクール受賞作品

お便りはプレビュー見ながら印刷可

和田ゴム販売(株) 田澤 麻子 氏



第 5 回 理事 会

2024年度第5回理事会が9月26日(木)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町ビジネススクールの2024年度下期カリキュラムや労務管理アンケート調査結果、防災訓練の実施状況などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。案件一、労務対策委員会からボウリング大会の開催やインフルエンザ集団予防接種の



デモ機を使った救命訓練

起震車で震災の揺れを体験 問屋町防災訓練

9月4日(水)に12回目となる問屋町防災訓練が問屋町会館で開催され、組合員37名が参加した。青森市危機管理



リアルに再現された地震の揺れ体験

団地内の花苗植栽や街路樹の下枝刈りなどの景観美化緑化推進活動を行う問屋町緑のボランティア隊が6月に問屋町内に植栽した花壇が、青

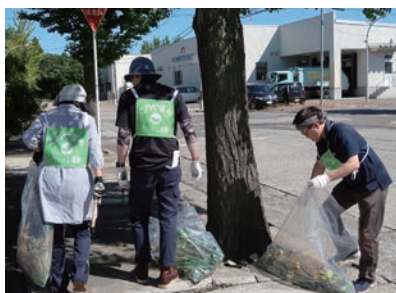
植栽した花壇が受賞 問屋町緑のボランティア隊

最後に青森市危機管理課の沼山主事が問屋町周辺の最新のハザードマップ等を用いて防災対策について説明した。



2024年度素敵な花だん表彰を受賞

また、今年度2回目の問屋町緑のボランティア隊の活動が9月1日(日)に行われた。



隊員が街路樹の下枝等を刈払い

今回は24名の隊員及びその家族が参加し、問屋町幹線道路及び北側枝線道路の街路樹の下枝刈りいと街路樹の除草作業を実施した。今回の作業によってごみ袋約20袋分の下枝等が刈られ、街路樹は美しさを取り戻した。



合同交流会



合同ゴルフコンペ

問屋町内の交流を促進 同友会青友会

青森問屋町経営同友会(同友会)と問屋町支店長・所長

紹介され、会場は大いに盛り上がった。今回のテーマは「今年の夏の思い出」。出席者からは夏に起きた楽しい思い出や新しくなった体験など様々な話題が

理事会終了後には、青森卸センター(株)の第3回取締役会が開催され提出案件が全て原案どおり承認された。

親会では、はじめに同友会で恒例のダイエツトグランプリの中間測定が行われ、その後、交流会恒例の出席者全員による1分間スピーチを行った。

案件三、組合員跡地買取資金の借入について

また、9月14日(土)には27回目となった両会合同のゴルフコンペが東奥カントリークラブで開催された。

実施などが承認された。案件二、組合施設の賃貸並びに新規組合員の加入承認について

また、9月14日(土)には27回目となった両会合同のゴルフコンペが東奥カントリークラブで開催された。

当日は両会会員ら18名が参加し5組に分かれラウンド。

秋空のなか天候に恵まれ、珍プレー好プレーに一喜一憂しながらゴルフを楽しんだ。ラウンド後は懇親会も開催され、プレーを振り返りながら親睦をさらに深めた。



事業内容 医療機器、院内ソリューションの提案・設置・メンテナンス等 映像音響及びICT機器の提案・システム構築・設置・保守等 各種イベント運営からハードレンタル、オペレーション業務等

コセキ株式会社 本社：宮城県仙台市青葉区地通南宮町2番26号 TEL 022(272)2211 青森営業所：TEL 017(738)4506 (青森県青森市問屋町二丁目20番5号) 八戸出張所：TEL 0178(21)6636 (青森県八戸市下長一丁目16番21号)

～明日のエネルギー環境を創る～



〒030-0131 青森市問屋町一丁目12番2号 本 社 TEL 017-738-7788 十 和 田 ( 営 ) TEL 0176-22-9202 五 っ ( 営 ) TEL 0175-31-1191

問屋町たんしん

第48回問屋町ボウリング大会

日時 11月29日(金) 12月6日(金) 各日午後7時~8時30分

会場 アオモリボウル 参加料 1人 1300円 ※2ゲーム

定員 120名

日時 11月22日(金) 午後6時30分~7時30分

会場 問屋町会館 2階大会議室

参加料 無料 定員 40名

日時 12月6日(金) 午後1時30分~3時30分

会場 問屋町会館 2階大会議室

講師 B.M.コンサルティン グ(株) 代表取締役 深沢 真太郎 氏

参加料 無料 定員 20名

業務報告

重要事項

9月 1日 第2回問屋町緑のボランティア隊

4日 第12回問屋町防災訓練

6日 同友会・青友会第9回合同交流会

9日 公共施設等視察会

12日 第4回集団健康診断

14日 同友会・青友会第27回合同ゴルフコンペ

17日 金融審査会

19日 第3回労務対策委員会

24日 第2回景観再整備検討ワーキング委員会

安協問屋町支部第3回

街頭指導 26日 第5回理事会

回取締役会 29日 問屋町サッカー教室

問屋町 ビジネススクール

3日 フォロワーシップ

5日 ビジネススマナー研修

12日 セルフブランディング構築講座

17日 OJT指導法研修

19日 簿記の知識がなくても決算書が見れるようになる

経済雑感

第一五三回

青森県中小企業団体中央会 副会長・専務理事 菅 孝

前号に引き続き、青森県中小企業団体中央会の菅副会長・専務理事による経済雑感をお送りする。

【県内の中小企業支援機関】 様々な課題を抱えている中小企業を活用したいのが中小企業支援機関です。

▼21あおり産業総合支援センター・創業者や中小企業者からの様々な経営相談に対し、関係機関と連携し、ビジネスプラン作成から事業化・販路開拓まで一貫した支援を実施。再生支援、事業承継支援も含めワンストップサービス

スを提供している、経営に困ったまずは門を叩いてみてください。▼青森県産業技術センター・地方独立行政法人の研究機関で「工業」「農業」「水産」「食品加工」の4部門から構成。技術的課題の相談はこの機関へ。▼青森県知的財産支援センター・知的財産(特許、商標など)著作権などについて何でも無料相談で対応。▼商工会議所、商工会、身近な支援機関として経営・融資相談、専門家を派遣等を実施。▼青森県若年者就職支援センター・企業見学会や合同企業説明会、内定者や若手社員向けのセミナー等を開催。▼JETRO青森・世界か



青森県中小企業団体中央会 副会長・専務理事 菅 孝 氏

ら収集した情報とノウハウを活用し、貿易・投資に関する様々な相談に対応。▼金融機関、青森県信用保証協会・融資相談はもちろん、その他経営に関するコンサルティンク業務にも注力している、手始めに付き合

いのある担当者にも相談してみるのがよいかも。このほか、県、各市区村においても融資制度や補助金など多くの施策を実施している

で、必要に応じて問い合わせてみてはいかがでしょうか。

【結びに】 令和2年からのコロナ禍では、企業活動の制限など県内中小企業は大きなダメージを受け

ました。その状況下で、県の支援策の活用などで企業の皆さんが力強く経営を継続してこられたことに敬意を表します。しかしながら、昨今のインバウンド需要の回復等で県内経済に明るい兆しが見え始めてはいるものの、県内中小企業を取り巻く経営環境はコロナ禍以前に完全にもどるといったことはないと考えます。それを踏まえて企業の皆様には、経営戦略の見直し、改善や進化等、従来の経営戦略を変化していかなければ今後の事業継続が難しいのではないかと思います。したがって、先に紹介したことを参考に常に前向きなマインドを持ち事業継続に取り組み、発展することを祈念しております。

(完)



ドライバーにもしもの時の安心を

自動車総合共済

納得の掛金

各種割引

安心の特約



県火災あおもりでは「事故有等級制度」を導入していません。そのため事故翌年の掛金上昇が緩やかです。

取扱代理店 青森卸センター代理所 TEL:017-738-4711



灯油・LPGのご用命は当社へ

株角弘 青森燃料センター

青森市第二問屋町3-10-10

TEL017-762-3866

ENEOS EneJet DOUTOR

青森市第二問屋町4-10-26

EneJet問屋町SS

TEL 017-762-1676

ドールコーヒーショップ EneJet問屋町店

TEL 017-729-1470

### 八戸キャニオン等を視察 公共施設等視察会

組合では、公共施設等視察会を9月9日(月)に実施し、組合員ら16名が参加した。今回は、八戸市の八戸キャニオンと(協)八戸総合卸センターを視察した。

八戸キャニオンは露天掘りの石灰石鉱山で正式名称は八戸石灰鉱山という。現在の最深部は海拔マイナス170mに達し、日本一空が遠い場所として知られる。今回は特別に、普段は入れない採掘場内も見学し、参加者は圧倒的な人工渓谷の眺望を堪能した。(協)八戸総合卸センターでは、卸団地東側に進めていた



八戸キャニオン

拡張工事が2024年8月に完成し分譲が進められている。当日は、同組合の橋本理事長らから拡張工事の概要などの説明を受け、その後造り地の見学を行った。

### 団地企業訪問

今回は「仕事においてもプライベートにおいても感謝の気持ちを忘れないようにしていただきます」と語る昭産商事(株)の須藤支店長にお話を伺った。

同社は小麦粉、油脂、糖質、砂糖などの基礎的な食品中間原料のほか、二次加工品や鶏卵、米穀、食品用大豆などの農産物、また穀物加工工程で発生する副産物であるフスマや脱脂大豆などの飼料原料や配合飼料など幅広いラインナップを揃えて、様々な業態の企業と取引している。「当社は『人々の健康で豊かな食生活に貢献する』と

### 健康事業10周年記念 シンポジウム開催案内

組合では、2014年度から健康事業に本格的に取り組み今年度で10周年を迎える。そこで、青森市における健康づくりの現状や組合及び組合員企業の健康事業に関するこれまでの取り組みを共有し、ヘルスマリテラシーの向上や従業員の健康増進に取り組みことの必要性を再認識し、健康事業に取り組み企業の拡充を図るため、「健康事業10周年記念シンポジウム」を左記のとおり開催する。

▼日時 12月4日(水)  
午後1時30分～3時30分



▲シンポジウムのお申込はこちらから

▼会場 青森市はまなす会館 2階大会議室  
▼参加料 無料  
▼シンポジウム概要  
①組合の健康事業取組紹介  
②基調講演  
テーマ「青森県の企業における健康づくりの今」  
講師 弘前大学 特別顧問・名誉教授 中路 重之氏  
③パネルディスカッション  
テーマ「人生100年時代を豊かに生きる職域からの健康づくり」



昭産商事(株) 支店長 須藤 泰生 氏

いう昭和産業グループの企業理念のもと、『食』に関する多彩なカテゴリーの商品を取り扱う独自性と、全国規模のネットワークでお客様への更なる満足をお届けすることが当社の役割と考えております。特に穀物取扱量においては食品メーカーNo.1という強みを活かして、お客様の要望に幅広く応えられる体制を整えています。今年で創業75年、青森支店は約50年地元で密着して営業しているため、これまで蓄積したノウハウをもとに『お客様のお役に立てる昭産商事』を目指し、今後も頼りになる商社として社員一丸

となつて努力していきます」と熱く語る。業界の現状について話が及ぶと、「人口減少により食品業界の縮小と働き手不足が問題となつています。どこの業界も同じかもしれませんが人材確保が当面の課題です。また、今後は地元の農産物などのように付加価値をつけて首都圏などの外食産業等に売り込むかが重要だと考えます」と話す。

青森の印象を聞くと「もともと青森市出身で、東京、仙台、八戸を経て34年ぶりに戻ってきましたがやはり地元はいいですね。あとは雪さえなければ

ば住みやすいのですが」と苦笑い。問屋町の印象について何うと「異業種間のコミュニケーションがあるのが素晴らしいと思います。支店長・所長連絡会などで横のつながりができるのはありがたいです」と語る。

プライベートについて話が及ぶと、「ゴルフコンペの回数が多いので、参加しても恥ずかしくないようにならべく練習に行くようにしています。健康面については、青森に帰ってきてからは歩くことが減ってしまつたため、なるべく運動をするように心掛けたいです」と笑顔で語った。(54歳)

### 編集後記

とんやまちフードドラ イブ&エコキャップ運動がスタートしました。こうした取り組みを通じてSDGsに対する理解を深め、持続可能な社会・地域に貢献できたらと思います。青森県中小企業組合士会の会長を仰せつかりました。大好きな先輩から渡されたバトンは大変重いものではあります。が、会の仲間と一緒に楽しい会にしていければと思っています。その組合士会の東北・北海道ブロック研修交流会が秋田市であり、参加してきました。最近、秋田市にご縁があります(笑)。初めての会長会議にドキドキしながら出席したら、隣の岩手県の会長が盛岡卸センターのSさん(なんとSさん私も私とほぼ同じタイミングで会長になったそう)で、新米会長仲間がいて安心しました。研修交流会では、男鹿温泉郷のなまはげ文化をフル活用した地域振興の講演や楽しいマジックショー、たくさんのお酒など、大変充実した内容でした。秋田県組合士会のみなさんありがとうございます。▼中でも全国の組合士会をとりまとめている連合会の副会長が「組合士の活性化とともに会員を5千人、1万人にしていきたい」と挨拶されたのに感銘を受けました(現在は約3千人)。やるからには目標は大きく持つ、その高い志は正に組合士の鑑だと思います。組合運営には様々な課題があり、それに立ち向かうには事務局職員のスキルアップが欠かせません。ぜひ中小企業組合士に挑戦ください！(小田切)

地域の一員であるみちのく銀行は、事業承継・M&Aを支援いたします。



プロクレアホールディングス

みちのく銀行 第二問屋町支店 Tel.017-739-1100

造る人、暮らす人の力になりたい  
建設資材・各種ボルト 各種工具類・工作機械



青森営業所 〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目10-18  
Tel.(017) 738-6111(代) Fax.(017) 738-3513